

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

世界に希望を生み出そう



寛容の心で、
ロータリーを楽しもう

RI会長 ゴードンR・マッキンリー 2023～2024

富津中央RC会長 若鍋武良

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2750 第29回例会 2024. 2. 29 晴

点 鐘 : 若鍋武良 会長
進 行 : 渡辺哲夫 SAA 飯島由美 副SAA
ソング : それでこそロータリー

会長挨拶

若鍋武良 会長



皆さん今日は、ご逝去の報告です。渡辺務会員の御母様様が28日にご逝去されました。謹んでお悔やみを申し上げます。ご冥福をお祈り致します。

米山功労者として、第2回マルチプル功労者白石幸久会員、第1回米山功労者神子勝美会員と山下厚会員の3名が表彰されました。

お客様をご紹介します。地区環境委員会委員長の窪田謙様です。後ほどご挨拶をいただきます。

先週(22日木曜日)のクラブの例会が休会でした。「ロータリークラブの休会」についてです。

「ロータリークラブ定款(RIロータリークラブの憲法にあたるもの)」の**第7条会合第1節 例会の(d)項、休会**について、次のように書かれてあります。

例会日が以下にあたる場合、理事会は、例会を取りやめることができる。

- (1) 祝日にあたる場合、またはその週に祝日が含まれる場合、(2) 会員の葬儀の場合、(3) 全地域社会にわたる流行病もしくは災害が発生した場合、または(4) 地域社会での武力紛争がある場合例会を取りやめることができる。今年度(1)に当たる例会が3回(1月4日、2月22日、5月2日)あります。

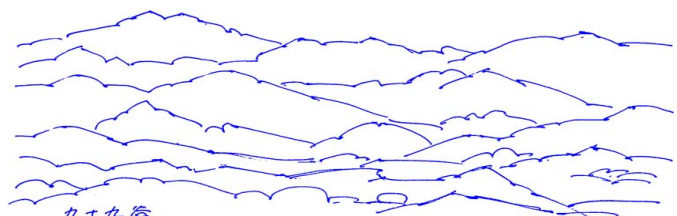
理事会は、ここに列記されていない理由であっても、1年に4回まで例会を取りやめることができるが、3回を超えて続けて例会を取りやめてはならない。因みに、1年は52週(×7)で、通例年間48回の例会がありますが、上記(1)～(4)に当たる場合は回数が少なくなります。コロナ禍の数年は例会数が32～36回でした。昨年は42回でした。

ロータリー語録

ロータリーには、幾多の戒めや叱咤激励の意を込めた語録が伝えられています。過去のクラブ記念誌から、ロータリーに関する心に残った言葉を抜粋します。

- ロータリーは教わるものではない。体得するものだ。(初代クラブ会長笠原文雄氏)
- ロータリーに『No(ノー)』という言葉はない。あるのは『Yes(イエス)』と『喜んで』だけだ。
- どんなに有能であろうと適性であろうと、クラブの役員は原則1年で交代、単年度制です。

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3
いち川旅館
Ichikawa ryokan
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,
293-0043
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



単年で交代するのは、お互いに「奉仕」を学ぶ役どころを与えられるためであって、ロータリーはクラブの合理性や能率を追求する場ではない。

・クラブで奉仕することの楽しさや奉仕を実践する勇気を学び、それを家庭や職場で、良き社会人として「奉仕」の実践を展開するもの。

一つ一つが含蓄のある言葉に思われます。

幹事報告

岡元 誠 幹事



1. コーディネーターニュース3月号を回覧。
2. ポリオ根絶祈願チャリティーゴルフコンペの案内を回覧。
3. 風の便りV o 1. 9を回覧。
4. MCRレポート1月を回覧。
5. ガバナー月信3月号を配布。
6. ロータリーの友3月号を配布。

会員卓話

『一生に一度は行ってみたい』

栗原典子 会員



皆様こんにちは。今日は時間がたっぷりあると言う事ですが、私は知識も話術も貧しいので映像に頼る事にしました。毎回、朝月会員、久保会員には

大変お世話になりまして感謝申し上げます。

昨年6月に私の趣味の日本舞踊の発表会が君津市民文化ホールで5年振りに開催されました。この歳になって娘と一緒に踊れる幸せ、楽しさを味合わせて頂いております。



さて、今日は『一生に一度は行ってみたい』と、題しまして『おわら風の盆』についてお話させていただきます。富山県富山市八尾地区で、毎年9/1～9/3にかけて行われている行事です。富山の地区では休みのことを「ぼん(盆)」という習わしがありました。江戸時代の元禄に生まれた行事で旧暦では、台風が頻繁に来るシーズンで風神鎮魂と豊作を祈願したことからこの名がついたという事です。

「越中おわら節」の哀切感に満ちた旋律にのって坂が多い町の道筋で無言の踊り手達が洗練された踊りを披露します。艶やかで優雅な女踊り、力強さを感じる勇壮な男踊り、哀愁漂う胡弓の音色が踊り手達を盛り上げます。女性は編笠を被っていますがこれは照れやはずかしさを隠すため最初は手ぬぐいなどで顔を隠していたそうです。

女性の着物には、歌詞が描かれていて帯は黒です。帯が黒いのは、衣装を揃える際に昔ほどの家

庭にもあった葬祭用の黒帯を用いた名残と言われている。女性は25歳までの未婚と決められています。

踊りは、町流し、輪踊り、舞台踊り、男女混合踊り、お座敷おわらと各地によって異なります。

男女混合踊りは鏡町で男女が恋の世界を描いている色気ある踊りです。今の踊りは、昭和4年に若柳吉三郎がおわらに40日間滞在して振付けたそうです。

おわらの歌詞は、基本的に「七七七五」の26文字で形成されており、最後の五文字の前に必ず「おわら」と、入れるのが特徴です。旋律は一つですが歌は三千位あるそうです。

その中の二つを紹介します。

「積もる思いも角間の雲は 溶けて嬉しい おわら 梅の花」

「歌の町だよ 八尾の町は 唄で糸とる おわら 桑も摘む」

11地区の他に特別に認められた八尾高校郷土芸能部は踊り、唄、楽器の練習を週6日してこの「風の盆」に参加しています。部員は町に住む生徒はごくわずかでほとんどが、町の外から通う生徒だそうです。

「おわら」の魅力にとりつかれてしまうのですね。

地味な踊りの中に優雅さがあり、物悲しく聴こえる胡弓の音色に私も魅了されました。

高橋治さんの「風の盆恋歌」と、いう本があります。これは、9/1～9/3おわらの期間だけに逢瀬を重ねる不倫の物語ですが、俳句と短歌が所々に書かれています。高橋治さんの「風の盆」狂いは相当なもので毎年9月の初めの三日間は必ず八尾にいらっやっていたそうです。

その「風の盆」病に感染した重症患者が、なかにし礼さんです。石川さゆりの「風の盆恋歌」は、作詞なかにし礼、作曲三木たかしでとても素敵な歌です。聴いてみたいと思われる方は私がお披露させていただきますので、是非とも「EVE」にご来店ください。ご清聴ありがとうございました。



委員会報告

岡田良弘 社会奉仕担当部長



子供食堂開催

日時 令和6年3月1日(金) 17:30～19:00

2月は節分ということで子供たちにお菓子の詰合せをプレゼント致しました。

鬼の着ぐるみを若鍋会長に着て頂きました。子供たちは大変喜んで楽しんでいました。

5月の子供の日にはまた、子供たちに何かプレゼントしたいと考えています。

毎月 第1金曜日に開催していますのでご都合のつく方は参加してみてください。

$$\frac{\text{当日出席した会員数} + \text{Makeupした会員数}}{\text{全正会員数} - \text{当日欠席した免除適用会員数}}$$



窪田 謙 『森の再生プロジェクト』、よろしく

お願いいたします。

椎熊邦広 来週休みます。

若鍋武良 窪田地区環境委員長をお迎えして。

岡元 誠 //

榎本守男 //

白石幸久 //

高橋裕之 //

栗原典子 // 卓話をさせて戴き。

* 飯島由美 // 栗原会員の卓話を聞かせて戴き。

岡田良弘 我が良き友、窪田環境委員長、成功をお祈りいたします。

三枝一雄 窪田様ようこそ。ロータリーの友を読んで下さい。

栗原会員へ

『春風や おもひを秘めし 舞扇』 かずを

相川恵津子 栗原会員の卓話を聞かせて戴き。

* >1,000円 計13,000円

出席報告

栗原典子 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	36/28	26	7	2	80.00%
前回	36/31	29	5	2	86.11%
前々回	36/31	29	5	2	86.11%

- 理事会報告

若鍋武良 会長

『2/15開催分』

議題1 富津市と嘉義市との友好を深める件、渡辺務会員より提案があり、富津市長の挨拶文を嘉義市長に送ることが承認されました。

議題2 新入会員推薦について、新橋悠実瑛様 3月第一例会日に入会、伊藤嘉昭様 4月第一例会日に入会について今日の理事会で承認を得ます。議題3 地区補助金申請について、「子供食堂」で申請する。詳細(名称・内容)については、担当する神子勝美会員と岡田良弘会員を中心に検討する。

『2/29開催分』

議題1 新入会員入会の件 新橋悠実瑛様 3月第一例会(7日)に入会と伊藤嘉昭様 4月第一例会(4日)に入会が承認されました。

議題2 例会場について 新入会員とメーカー等によるお客様の増加に伴い、例会場の配置について次回の理事会で検討する。